

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 気仙沼市立馬籠幼稚園

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒988-0367
宮城県気仙沼市本吉町向畑 14 番地

E-mail : magome-yo@city.kesenuma.lg.jp

Website : _____

児童生徒数：男子 4 名 女子 6 名 合計 10 名
 児童・生徒の年齢 3 歳～ 5 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容

テーマ	「まごめのいいとこみ～つけた！！」 ～身近な環境とのかかわりから～
<p>1 本園のESDでめざすもの</p> <p>(1) ESDのねらい</p> <ul style="list-style-type: none">○ 身近な環境に五感を働かせながらかかわり，馬籠の豊かな自然や，人や地域を大切に育てる。 <p>(2) ESDで育てたい資質・能力</p> <ul style="list-style-type: none">○ 身近な自然に五感を働かせながらかかわることで馬籠の自然や地域の良さに気づき，それを大切にしようとする気持ちや態度。○ 地域の人や身近な人とのかかわりから育まれるコミュニケーション能力。 <p>(3) 活動の評価の観点と方法</p> <p>(観点) ○地域の環境や自然，人に興味をもち進んで活動に取り組んでいるか。 ○様々な活動に取り組む中で，いろいろな人に親しみをもってかかわろうとする気持ちが育っているか。</p> <p>(方法) ○幼児の気づきや感想などを伝え合える時間を設け，幼児の態度や意欲からその活動への取組の評価を教師間で共通理解していく。 ○幼児の作品や記録簿などの累積から幼児の変容や課題を把握していく。 ○送迎時や連絡帳等から家庭での幼児の様子や，保護者の思いを把握していく。 ○地域の人を園行事や活動に招待したり参加してもらったりする中で，幼稚園や幼児の様子を知ってもらう。</p> <p>2 本園のESDの概要</p> <p>(1) 活動の内容</p> <p>①【活動1】「作って食を楽しもう」(食育)</p> <p><内容>・「様々な野菜を育ててみよう」～ちびっこ畑の活動を楽しもう！～ ・「野菜を食べてみよう」 ・「お料理教室」(保護者向け)</p> <p><反省と考察></p> <p>○畑の活動を通して，様々な野菜のにおいや形，味を五感で感じることができた。また，野菜の生長の発見だけでなく，虫や動物，鳥など野菜にとって害となるものがあることにも気がつき興味や関心が高まった。保護者向けのお料理教室を行うことで，家庭での食育について考えるきっかけとなった。</p>	

②【活動2】「地域や人を知ろう」(地 域)

<内容>・「身近な生き物や植物を見て、ふれて感じてみよう！」

・「身近な人とふれ合おう！」

・「地域の宝物を探そう！」

<反省と考察>

○様々な気づきや発見を誰かと共有し合ったり、認め合ったりするなどかわりが多く見られるようになった。幼児の会話やつぶやきから、幼児の心に残るような体験活動を積み重ねていくことは、その後も幼児の心を動かす源となることを実感した。

③【活動3】「自分の命を守るために」(防 災)

<内容>・「約束やルールを知り、守ろう！」

・「防災訓練に参加しよう！」(幼稚園・小学校・地域合同訓練)

・「様々な災害を知ろう！」

<反省と考察>

○毎月の避難訓練や、消防署や小学校、地域との防災教室などはもちろんのこと、散歩などを通して、危険な場所や自分たちの地域で考えられる災害などを知らせるようにしてきた。今後も、繰り返して伝えることで記憶として残していきたい。

(2) 今年度、特に工夫改善したこと

○地域の人たちとの交流は充実してきているので、今年度は園児数が少ないことから、同年代の友達とのかかわりがもてるよう、近隣の幼稚園との交流をもつ機会を工夫した。

①自分たちが育てた野菜の苗をプレゼントし、育ててもらおう。

・落花生やパンダ豆など、同じ野菜を栽培し味わうことで共通の話題につながった。

②手紙の交換やIP電話を使った交流をする。

・IP電話では直接顔を見ながら会話することができ、手紙ではゆっくりと相手のことを思いながら繰り返し眺めることができていた。

③交流会を行う。(プール交流会、秋の遠足)

・一緒に時間を過ごすことで、名前を覚えたり、同じものを見たり感じたりすることで、より親しみがもてた。

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)

時間外活動の時間を使用

ユネスコクラブの活動として実施

その他()